

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	茨城県
-------	-----

学校の概要

学校名	茨城県龍ヶ崎市立長山小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	2	2	2	1	13	18
児童数	58	56	56	58	55	55	3	341	

研究の概要

1. 研究主題

児童一人一人の学習意欲を高め、確かな学力の向上をめざす算数科の指導法の研究

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

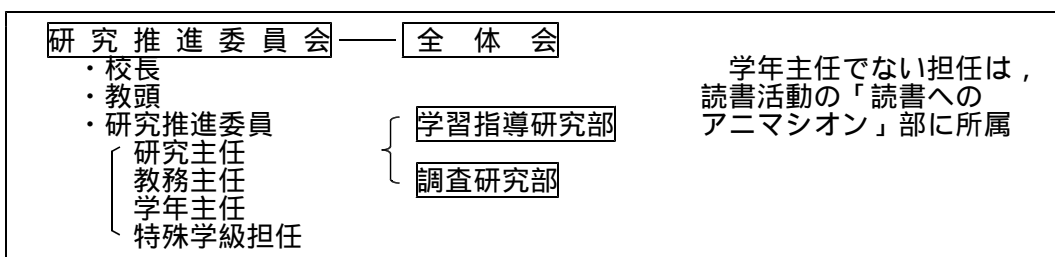
<p>全学年・算数科</p> <p>本校は、教育課程に読書活動を多く取り入れている。読書活動は国語科に関連するところが多く、また相応の成果をあげることができている。そこで今回は、算数科を選択した。</p>
--

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ</p> <p>少人数指導や習熟度別学習を通して研究の見通し</p> <p>児童一人一人の学習意欲を高め、基礎的・基本的学習内容の定着を図るとともに個に応じた指導のあり方を工夫・改善すれば、確かな学力の向上が図られるであろう。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の指導者による指導の形態や評価規準を明確にした単元指導計画の作成 ・算数ファイル（学習計画表や自己評価及び確認テスト）の導入 ・課題選択別及び習熟度別などのコース別少人数指導を随時取り入れ、児童の興味・関心や意欲、学習のペースなどに応じた授業の展開 ・研究授業や校内授業研の積極的な実施 ・県「学力診断のためのテスト」の分析結果を普段の学習指導に反映
--------	--

平成16年度	<p>テーマ</p> <p>多様なTTや少人数指導を通して研究の見通し</p> <p>児童一人一人の学習意欲を高め、基礎的・基本的学習内容の定着を図るとともに個に応じた指導のあり方を工夫・改善すれば、確かな学力の向上が図られるであろう。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元指導計画の修正・改善 ・指導形態の多様化 ・個に応じた指導のための教材の開発 ・算数ファイルの改善 ・算数的環境の整備
--------	---

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

単元指導計画をもとにした指導は、指導者に指導形態や評価規準、発展的な学習や補充的な学習の意図的な実施などを意識させた。

算数ファイルの自己評価や確認テストは、毎時間を原則として児童と指導者双方に負担にならないように実施してきた。実践を積み重ねるうちに、児童にとっては励みになり、指導者は児童の学習状況をより細かく継続的に把握することになり、意図的な児童への関わりが増え、指導の改善にもつながった。

ＴＴや均等割りの少人数指導を中心にそれぞれの利点を生かしながら実践してきた。お互い連携を図りながら、教材研究をよく行ない、分かる授業に努めた。いずれの形態においても工夫ある指導法や一人一人への多くの関わりは、児童に大変好感をもたれた。

県「学力診断のためのテスト」の分析結果から、算数科の主な改善点は次の通りである。

ア 数や量の概念が身に付くような配慮をする。

イ 生活と結びつけた課題を多く取り入れる。

ウ 予想や見積もり、確かめをする習慣が身につくようにする。

エ 基礎・基本を押えた反復練習を奨励する。

課題の設定や教材・教具の開発、ドリル学習の扱い方などにこれまでと違った多くの工夫がなされた。

計算力の確実な定着のために小中9年間を見通した系統的な問題集を地域3小中学校連携の教材とし、作成した。児童生徒は、いつでもフィードバックしたり、先の学習に取り組んだりできる問題集に自ら取り組むことができる。

2. 今後の課題

本研究に関わる保護者のアンケート調査では、7～8割の方が「学力の向上」や「きめ細かな指導」等について期待をよせている。しかし、「少人数学習になって意見や発表が増える」の項目については、保護者の期待に比べ、児童の受け止め方に大きなずれが見られた。アンケート結果からも含め、次のような点が課題としてあげられる。

理論的かつ具体的な研修の推進
 単元指導計画の修正
 指導体制の改善と指導形態の多様化
 個に応じた指導のための教材の開発
 コンピュータを用いた学習の推進
 保護者や地域への啓発

学力等把握のための学校としての取組

茨城県「学力診断のためのテスト」

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

研究中間発表会（12月3日、全保護者・学校評議員・県南地区小中学校教員等対象）
 ホームページ作成予定

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T.Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無